

	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
11	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
	1 三りんぼう 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	2 8月23日 赤口 なんでも人権相談所 (矢部公民館)	3 24日 先勝 なんでも人権相談所 (八女市星野支所)	4 25日 友引	5 26日 先負 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (上陽地域福祉センター)	6 27日 仏滅
7 28日 大安	8 寒露 赤口 体育の日 市民コンサート(吹奏楽部門) 10:30~(八女市音楽協会・おりなす八女)	9 9月1日 先負 新聞休刊日	10 2日 仏滅 なんでも人権相談所 (立花市民センター) (筑後市中央公民館)	11 3日 大安	12 4日 赤口 なんでも人権相談所 (黒木地域交流センター)	13 5日 先勝 第4回ヤンマー建機感謝祭 (10:00~16:00)
14 6日 友引 八女筑後看護専門学校 オープンキャンパス 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 市民コンサート(コーラス部門) 13:00~(八女市音楽協会・おりなす八女)	15 7日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	16 8日 仏滅	17 三りんぼう 大安	18 10日 赤口 無料弁護士法律相談 13:30~(八女民主商工会) 要予約☎24-2727 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	19 11日 先勝 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所)☎22-5161	20 土用 友引 人生史サークル黄檗の会 1:30~(福祉会館) 広川町文化祭 合同展示会~21日・いこっと
21 13日 先負	22 14日 仏滅	23 霜降 大安	24 16日 赤口	25 17日 先勝	26 18日 友引 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	27 19日 先負 住生活セミナー 講演「未来を見据えた家の 持ち方」 10:30~おりなす八女
28 20日 仏滅 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 筑後広域公園ウォーク (八女歩こう会)	29 三りんぼう 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	30 22日 赤口	31 23日 先勝	●おりなす八女 10月イベント情報● 8日(月祝)10:30 市民コンサート 吹奏楽部門 14日(日)13:00 市民コンサート コーラス部門 28日(日)15:00 東京バロックプレイヤーズ 2018 トリオソナタ		
				●10月の筑後市立図書館● 毎週土曜日 11:00~ おはなし会 27日 9:30~ ゆっくり読書タイム 14:00~ ボードゲーム 31日 14:00~ 認知症かふえ		

猛暑をも物ともせずや甲子園
 夜風ふと新涼覚ゆ厨窓
 打水をされて地蔵の御縁日
 夫留守の昼寝三昧至福なり
 ご褒美の余生なりとて秋の旅
 もう少し雨をと欲す台風に

松延みさと
井上トシ子
牛島 景子
堤 多鶴子
中川原篤子
中島 正美

庭隅に風のうねりや青芒

大坪
延子

獻立に悩める日々や夏休み
故郷へ帰る人波盆の波
代々の盆提灯のゆらぎかな
喜雨なれど素直に笑顔作ら

荒川ミヤ子

子に甘き親となりたる夏祓
竹林を分けて歩むや盆送り

吉泉
守峰

■上陽町 陽泉俳句会

三味線の皮の破るる猛暑かな

伊藤 幸子

喜雨欲しき土の底より悲鳴あぐ
これくらい派手でよかれと浴衣

大坪 栄子

夏祭り柁目の下駄にすべる指
秋風や軽くなりたる老ひし母
戻りたき海へ夏日へ瓶の砂
雲海や下界の山河埋め尽し

大田眞紗子

睦会

広島忌被爆の友は語り部に
菰を干し敷物編みて盆支度

浅田つき子

野仏に盗人萩の侍りを
倒木の一本橋や蟬しぐれ

水本
辰次

格子戸の土間の涼しき近江町
花さびたいつかかげる山の空

殖生 洋美

■筑後俳句会
日かげりて青田嬉しと鷺の群

—

炎天や畑の青葉の嘆き言

深町 和子

鷺草の今に飛び立つ気配せ
ソーダ水ビールに注ぎ暑気

中村テルヨ

束の間の涼風受けて雲高し
盆帰省ふとん並べる幼な孫

武田 行夫

朝顔に流るる風は草書かな
色褪せし写真眺めて盆の月

吉泉 守峰

■立花町 立花俳句会

1

クラツシー文芸

今月の山柳



サンマは、日本庶民の秋の味覚の代表魚である。北海の荒海を銀鱗を光らせて、細身の体で、真つ直ぐに生き抜いたサンマがいじらしい。サンマ焼く秋を満喫老いの幸八女川柳会 安達昇

今月の色

青苔



青みがかった苔色。鎌倉時代の武士に好まれた。視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



9月下旬になっても元気な緑のカーテン

我が家は犬のゴーヤ好きである。この夏もかみさんと2人で100本は食べただろう。おかげで猛暑の夏も食欲の落ちることはなかった。9月も下旬になり真夏の勢いはないが次々と黄色い花が咲く。このままでは10月までゴーヤを楽しむのではない。気がかりなのはゴーヤの後はこの場所に毎年白菜を植えていることである。彼岸の前後に知人から立派な白菜の苗を頂く。土が合うのか毎年道行く人が驚くほどよく育ち、冬中我が家の鍋料理に欠かせない。手入れを考えると他の場所に植えることもできず頭を痛めている。

教師道

⑦

森下 計二

幼い頃から書く事が大好きでした。書道は、学生の時に学んだものの、何十年も筆を持っていない。六十の手習いではないが、ちつと恋来塾に参加し書道コースを選ぶ。四ヶ月ほどで終わったが、このままやめるのはもったいないと、数人で書道を始める。先生に基礎から教えて頂き、早五年の歳月が過ぎる。ゆつくりではあるが、上達しているのは間違いない。これからは皆さんと楽しく、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思えます。自然は、自給自足で過ごし、鳥のさえずり、小川のせせらぎ等、子供の頃が蘇ります。

ある日の放課後、私は一人の女の子を教室に残してひとり言のよう話していました。クラスの何人かの子らが自分の筆箱や、色鉛筆や絵本がなくなつて探したら、その子の机に隠されていたので「盗み」の犯人と名指しされたのです。私は目の前の振り向かない背に、人の物を秘密で隠すことになる。だれかにもらった大切な物かもしれないし、思い出のある品かもしれない。君にもきつとそういう物があるんじゃないかな。それがなくなるってことはとても悲しいことだと思うよ。



第4回「ヤンマー建機感謝祭」開催 10月13日(土) 10:00~16:00

普段は体験することの出来ないショベルカーの乗車体験や記念撮影、工場見学ツアー、お子様に大人気の縁日コーナー、更には地元団体の演奏会や模擬店の出店、大抽選会など様々な催しを企画しております。また、筑後市の公式キャラクターであるはね丸も招待しており、はね丸と写真撮影もできます。地域の皆様に感謝の思いを表したくこの機会に是非ともご来場下さい。

会場：ヤンマー建機株式会社 本社工場（筑後市大字熊野 1717-1）



体験コーナー



工場見学ツアー

(写真は昨年の様子)

アクセス：

【自家用車】国道 209 号線「免許試験場」の信号を北に約 500 メートル
【公共交通】西鉄バス「上町」バス停より徒歩 2 分（駐車場の数に限りがありますので公共交通機関でのご来場にご協力お願いします。）

問合せ先：0942-53-5111 ヤンマー建機総務部 感謝祭担当

こんにちは。筑後警察署です。

50

現在、福岡県では交通事故が多発しています。

特に、高齢者が亡くなる死亡事故が急増し、全体の約 6 割を占めています。

これから秋を迎えますが、夕暮れの時間が早くなり、午後 4 時以降の交通事故が増加する傾向にあります。

歩行者の皆さん～

○横断歩道を渡りましょう。
○道路を渡るとき、左から来る車との事故が多発しています。道路を渡り終えるまで左右の安全確認をしましょう！

○夕方以降は、「明るい服を着用」し、「反射材」も着用しましょう。

運転手の皆さん～

○横断歩道を渡ろうとする人がいたら、停車してください。
○車間距離をとって、余裕のある運転をしましょう。
○「ながら」運転は危険です！絶対にやめましょう。
○夕方は早めにライトを点灯し、ハイビームを活用しましょう。

交通事故が多発しています！



一人一人の心がけで、交通事故は「ゼロ」にできます！

事故のない「福岡県」を目指しましょう！！

10月の道の駅たちばな

道の駅たちばな
こんにやく作り教室
手づくりこんにやくを作ろう
10月27日(土)
午前10時30分～午前12時
費用1000円
*お土産・ごはん付き
申込締切は10月15日まで
*定員になりしだい締め切らせてもらいます
道の駅たちばな 立花町下辺春国道3号線沿
TEL 0943-37-1711



八女市馬場
栗原 廣子

朝夕は凌ぎやすくなりました。ほっとしたとたん自然災害の被害の大きさに驚きました。絵手紙を始めて、野菜や花など自然の風物に目が留まるようになり、自分の感じたように描いています。

先生の魔法の筆で絵が行き生きとなつてきます。会の皆様のお絵をみるのも楽しみです。色んな作品に挑戦していききたいと思います。

健康よもやま話 38



姫野病院：松浦 緑郎
(健康管理士一般指導員)

働く女性の体の変化

女性の体が男性のそれと根本的に違う点は生理があるということです。生理とは月に1度、子宮内に厚い膜をつくり、それが壊れて剥がれ落ちる現象で、その膜は血で作られた柔らかいベッドです。月に1度、受精卵を置いてあげるためにベッドが用意されるのです。



神様は人類を滅亡させないために女性に年間12回くらいのチャンスが必要と考え、女性の体内に28日周期で受精卵のための柔らかい血のベッドを作って受精卵を待たせることにしました。

しかし、いくら待っても受精卵がこない、諦めてベッドを壊して流します。この“流す”という現象が生理で、翌月になるとまたいっぱい血を集め柔らかいベッドを作って受精卵を待ち、こないとまた流す。

卵巣と子宮はこうした行為を延々と繰り返し、生涯で1度も妊娠しない人は年間12回、30余年、およそ400回も、毎月作ったベッドが受精卵を待つだけで終わることになります。人類はこうした女性の体内の、神秘的で精妙な営みのおかげで滅亡せずにきたのです。

ところで、女性の社会進出が著しい現代にあって、最近は結婚しない、子供もつukらないという女性が増えています。この現象を生理的な面から見ると先ほどのベッドを空転させていることと同じです。このような自然の摂理に反した状態が続いた結果、これまではあまり目立たなかった月経異常や月経痛が、さらには子宮内膜症や子宮筋腫などの病気が増えてきたのです。

つまり、これらの病気は急速に近代化した社会背景をもとに、女性が家の外で働くことが多くなったことに加え、子供をあまり産まなくなったことと決して無関係ではなく、広い意味で一種の文明病と呼んでもいいかもしれません。

つまり、文明化にともなうライフスタイルの変化のしわ寄せが、働く女性たちの生理に影響を与えている、というわけです。

八女農北山農場で小学生が農業体験

八女農業高等学校

立花地区の小学生が年間を通してさまざまな体験活動を行う「夢たちばな子ども体験塾」を、八女市立花支所の主催で8月24日本校北山農場で実施しました。立花小学校と筑南小学校の児童合わせて47名が参加しました。

1・2年生20名はバター作り、牛のブラッシングや子牛の心音聴き、ポニーの乗馬、ヤギ・ウサギとのふれあい体験をしました。3・4年生19名はお茶の飲みくらべや鶏舎見学、本校の鶏卵を使ったマヨネーズ作り、卵からヒヨコ誕生までの命の観察をしました。5・6年生8名は山歩きとクリ拾い、ナシ・ブドウの収穫と糖度測定、ドローン操作やトラクター・乗用モアの運転などを体験しました。本校生徒が先生役となり、体験活動の説明や指導を行い、小学生と楽しく交流しました。

この農業体験を通して、子どもたちは農業の楽しさや食・命の大切さなど、多くのことを学ぶことができたと思います。



バター作りと試食



ポニーの乗馬



ウサギとのふれあい



お茶の飲みくらべ



ナシの収穫



ドローン操作

10月の校内販売所(八女農みらい館)の開館日

2日(火)、5日(金)、12日(金)、16日(火)、19日(金)、23日(火)、26日(金)、30日(火)
販売時間は、10時30分～15時30分です。
多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

矢部川源流・杣の里の四季 84

オトコエシ(男郎花)と
オミナエシ(女郎花)[オミナエシ科]



オトコエシ



オミナエシ

名前の由来は、語尾のエシはメシのことで、オミナエシは女飯であり、これは黄色の花を粟飯に見立てての名であり、それに対してオトコエシの白い花を白飯、白米にたとえてオトコメシとしたものであるという説がある。花期は8～10月
「ひよろひよろとなお露けしや女郎花」芭蕉 黒木町 松尾 重根

伝き

神楽

引越して3年。時々

近所の神社の祭の賑わいが立つ。区外に住む友人がわざわざ見に行くというので私も初めて行ってみた。すると、テレビカメラや来賓の方々が多いのにびっくり。何事かと、教育長やら区長やらの挨拶を聞いてみると、この祭は福岡市民族無形文化財となっている田島神楽だという。そして始まった神楽は雅楽とともに舞を見せる。舞っている氏子(のよう)は、刀(のよう)を持った氏子、水をまく氏子、米を持った氏子……と、五穀豊穡を願う舞が続いた。後日、氏子に扮装していた人達に尋ねると、毎年この時期に皆で練習しているのだという。

ある市の文化財保護課の人の言葉を思い出した。文化財保護で今苦労しているのは実は物より祭だ。この誰もがやらない時代に、受け継いでやうな祭が多いのだ。その点この田島・笹丘地区は子どもも大人も自分達が主役だった。

神楽とは人が神の姿を演ずること、または神と対話する人を人が演ずることであり、それは神との交流を図る場である、いつか国文学教授の上野誠氏が説いていた。古事記や万葉集にもそれらは示されているという。

この忙しく煩雑な時代に、遠い古代から受け継がれている「神との交流」にロマンを感じた。

森 志穂



退職後、絵心のない私が、後の楽しみにと始めた水墨画も、ずいぶん長くなります。墨一色で描く墨絵の描写法は奥深く、年を重ねるごとにむずかしさを感じます。

水墨画に出会い、時間がたつのも忘れ、無心に描ける時間をもてるという事は、最高の喜びです。

これからも、橋爪先生にご指導頂きながら、老後の生き甲斐として、仲間の皆さんと楽しく続けていきたいと思っています。



立花町白木
櫻木 貞子

地域医療の担い手として ⑨

現在各市町村では「住み慣れた地域で最後まで生活できる環境整備」を目指し、『地域包括ケア』が始まっています。その一端を担う看護師育成機関は、この10年の間に大きく様変わりしました。

全国で看護系大学が267校と急激に増え、看護師養成機関も3年課程が537校、准看護師資格を取って進学できる2年課程が142校あり、何れも国家試験資格が得られます。一方准看護師養成機関（県知事認可）は217校と減少傾向です。

本校は准看護科と看護師2年課程を併設し、地域医療を目指してきました。特に僻地を抱えるこの地区では超高齢化と同時に過疎化が急激に進む中、地域医療が末端にまで行き渡るには絶対数の看護職の育成が不可欠です。

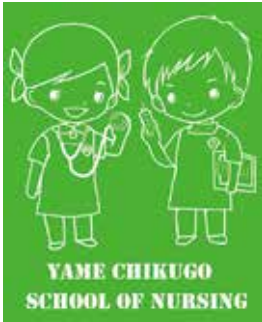
本校では、今までに看護科859人、准看護科1815人を送り出しました。その多くが地域の医療施設で活躍しています。学生の平均年齢も約23歳で18歳から40歳とまちまちですが「人の役に立つ仕事がしたい」「一旦就職したが、若い頃の夢が捨てきれない」「身体的なケアができる勉強がしたい」等、様々な理由で学習に励んでいます。

私事になりますが同僚と朝のウォーキングを始めて5年になります。毎日同じ風景を見ながら歩いても新しい発見をすることが度々あります。教育の現場も同じで、学生にも皆それぞれ美点があり、教師にはそれを見抜く感性・力量が求められます。

感性豊かな教員が揃い、准看護師や看護師の資格を取る上で学生が人としても成長する過程を支援出来るところは本校の強みと確信しています。

9月末から来年度の願書受付が始まりました。『地域医療の担い手』として、看護職を目指したい方は是非本校で学んでみませんか。

八女筑後看護専門学校 准看護科教務主任 田中 恵子



YAME CHIKUGO
SCHOOL OF NURSING

ハ女茶で健康 第38回

全国茶品評会玉露の部 星野村の倉住努さんが日本一獲得！

この品評会は、国の農林水産祭参加行事として、全国茶生産団体連合会が主催したもので、平成30年8月28日～31日まで静岡市の（株）静岡茶市場で開催されました。

審査茶種は、煎茶10kg、煎茶4kg、深蒸し煎茶、玉露、かぶせ茶、てん茶（抹茶にする前のお茶）、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の8部門があり、それぞれの部門の1等1席には農林水産大臣賞が授与されます。私は、審査員の一人として審査をさせて頂きました。



福岡県からは、煎茶2部門と玉露、かぶせ茶、てん茶部門に出品し、それぞれ多くのお茶が入賞したことにより、ハ女茶の名声を大いに高めることとなりました。中でも玉露部門では、1位から19位まで独占し、1等1席の日本一には八女市星野村の倉住努さん（57歳）が輝かれました。

外観（形状や色沢）、香気、水色（茶碗に淹れたときの茶の色）、味の各審査項目で満点を取られ、まさに日本一にふさわしい玉露でした。

倉住努さんは、約37年もの間、毎年、全国茶品評会玉露の部に挑戦し、初の全国制覇を成し遂げられました。玉露づくりでは、茶園の排水が良いため、夏の干ばつに留意され、麦わらの投入や灌水に気を配ってあります。また被覆の開始時期や摘採時期を研究されているそうです。倉住さんご一家は、お祖父様の代に昭和6年の九州・沖縄製茶大量品評会玉露の部で1等金杯を受賞、お父様の代でも全国茶品評会玉露の部で2回の日本一となられており、名実ともに八女高級茶産地を長年支えて頂いています。後継者もおられ、今後の活躍が期待されます。1世紀4代の長きにわたり高級玉露づくりに尽力され、日本一のハ女玉露を支えておられる姿にただ脱帽し、尊敬申し上げる次第です。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一

森林セラピー基地 ーくつろぎの森グリーンピア八女ー

～できたて空気で 深呼吸・身呼吸・心呼吸～

森林セラピーとは、森の持つ癒し効果を科学的に解き明かし、心と身体の健康に活かそうという取組です。県内には八女市黒木町を含め4基地、九州沖縄地域では11基地が認定を受けています。

訪れる方に、心も身体もくつろいでもらうため、森の案内人が一緒に森を散策します（※案内は要予約、有料）。森の中や周辺で耳や目、鼻、手足、味覚等の五感を研ぎ澄ませて、木々の息吹や風のざわめきを感じてください。そして、その中で一番自分に合ったリラックス方法を探してみてください。また、年に6回程度イベントを開催しております。

10月20日（土）フォークデュオ五円玉コンサート

「森の案内人」が約2kmの森林セラピーロードをご案内
「森のなかまたち」と「五円玉」によるコンサート
先着50名 参加料2,000円（セラピー体験・森の癒し弁当・温泉券付）
応募締切 10月9日（火）

12月2日（日）セラピーウォーク

森の案内人とグリーンピア八女全ての森林セラピーロードを約7.5km歩きます 健康に自信のある方
先着50名 参加料1,000円（森の癒し弁当・温泉券付）
募集締切 11月19日（月）
下記へ電話またはFAXでお申し込みください
八女市役所 黒木支所 産業経済課商工観光係 ☎0943-42-1115



クラッシー文芸

■黒木町 くすの実句会

災害の爪痕に降る星月夜 吉泉 守峰
ならぬことならぬと夏に逝きし知事 寺田 睦子

ほろ酔ひの冷酒重ね星月夜 松尾満留美
人命に閑はる酷暑蟬鳴かず 松尾アサ子
峡の里被爆の祖父の原爆忌 野崎万智子
あな清し百回記念の甲子園 青木 早弓

■ひろかわ俳句会

球場にびびくサイレン終戦日 酒井 司
カーテンのそよりとせぬ残暑かな 山崎 陽子

夏草の繁れるままの廃家かな 野中 勝美
手の甲の老斑ふゆる残暑かな 一瀬砂智子
廃屋の飾り山なる葛の花 原口あつ美
零余子飯今宵の膳に母の顔つ 結末 節子
口衝くは残暑の嘆き今日もあり 柴田 眞理
自分史の重さひと日や終戦日 松延 朝美

■立花短歌会

炎天に窓から見えるサルスベリ優しさ貰うそのピンク色には 樋口 愛子
在りし日の父が植えたるさるすべり窓辺叩き 鶴 邦子
て花びら散らす 車窓より見渡す山脈朝倉の地肌は赤し豪雨の 田中たつじ
あとの 窓越しにあいさつ交わす隣組互いに安否を気遣いながら 橋本 泰州
がさがさと七夕柿を食べに来るウリ坊二匹窓 松尾ミサキ
ごしに見る 浴室の窓に張り付くカベチョロはねらい定め 櫻木 敦子
て蛾をくわえたり 窓ぎわの日除けにせんとゴーヤ植え一石二鳥 中島 睦美
狙うこの夏 羽田便の小さき窓に見送りしわが子も定年数 井上 精
うる 冷え冷えの立山に見る星座群かつて知りたる 鶴 隆治郎
星求めつつ 草刈ればこむらがえりで疼く夜 作を減らせ 野中 裕政
と母の声聞く